

2019年関東倶楽部対抗新潟第2会場予選競技 組み合わせ及びスタート時間表

(参加者 16倶楽部 ・ 96名)

期日：5月23日(木)

場所：新潟ゴルフ倶楽部

(18ホール・ストロークプレー)

(一社)関東ゴルフ連盟

1番よりスタート

Aクラス

組	時間	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部
1	7:30	清水 邦彦	米山水源	堀 文明	湯田上	宮崎 富士夫	糸魚川	小西 三男	大新潟・三条
2	7:39	高橋 正秋	フォレスト	眞嶋 吉一	石地シーサイド	野々村 正博	胎内高原	布施 徹	妙高
3	7:48	村本 清治	新発田城	宮沢 重夫	松ヶ峯	白 源勇	ヨネックス	霜鳥 薫	新潟
4	7:57	古城 勝彦	下田城	山田 貴之	紫雲	西脇 豊	グリーンヒル長岡	野上 文範	小千谷
5	8:06	梅澤 清行	糸魚川	諏訪 清志	米山水源	松本 重光	フォレスト	渡邊 邦男	胎内高原
6	8:15	本間 勝	新発田城	古澤 慎一	ヨネックス	高橋 憲介	下田城	石口 力	グリーンヒル長岡
7	8:24	石川 富博	湯田上	星野 英隆	大新潟・三条	長谷川 修	石地シーサイド	中川 義昭	妙高
8	8:33	鴨居 進	松ヶ峯	小林 健治	新潟	佐藤 一喜	紫雲	斉木 稔	小千谷
9	8:42	佐久間 直人	胎内高原	中村 猛	大新潟・三条	阿部 勉	米山水源	内山 嘉雄	松ヶ峯
10	8:51	目崎 仁	小千谷	山田 克明	下田城	山宮 秀一	湯田上	石井 清栄	フォレスト
11	9:00	高村 伸吾	妙高	白 源正	ヨネックス	渡辺 一弘	紫雲	磯貝 徹也	糸魚川
12	9:09	北村 和秋	石地シーサイド	小熊 保	新発田城	筒井 勝利	新潟	椛澤 潔	グリーンヒル長岡

10番よりスタート

Bクラス

組	時間	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部
13	7:30	横田 秀国	米山水源	齋藤 義浩	フォレスト	川崎 治	新発田城	諸橋 陽介	下田城
14	7:39	阿部 祐希	湯田上	長谷川 剛広	石地シーサイド	横川 修平	松ヶ峯	和田 亮	紫雲
15	7:48	猪股 正紀	糸魚川	佐藤 智之	胎内高原	七里 直樹	ヨネックス	小林 敬治	グリーンヒル長岡
16	7:57	大桃 祐介	大新潟・三条	渡邊 宏治	妙高	大泉 一高	新潟	田村 敏明	小千谷
17	8:06	栃堀 治	石地シーサイド	青木 浩一	米山水源	小林 宏幸	ヨネックス	佐藤 秀明	小千谷
18	8:15	石山 忠一	胎内高原	阿部 匡伺	湯田上	高桑 隆弘	新潟	渡辺 一樹	糸魚川
19	8:24	竹田 裕司	妙高	田崎 尚志	下田城	神保 雅人	大新潟・三条	羽竜 淳	新発田城
20	8:33	志村 英樹	紫雲	水戸 康司	フォレスト	佐藤 雅基	松ヶ峯	石黒 展行	グリーンヒル長岡
21	8:42	宇佐美 博昭	下田城	坂上 一弥	胎内高原	金子 満	米山水源	渡辺 翔太	湯田上
22	8:51	渡辺 政由	紫雲	藤田 高彦	妙高	原 征夫	糸魚川	大島 裕	新発田城
23	9:00	林 典昭	グリーンヒル長岡	田井 康孝	大新潟・三条	甲崎 仁	松ヶ峯	佐藤 正明	小千谷
24	9:09	久代 信二	フォレスト	小林 肇	ヨネックス	高橋 克也	石地シーサイド	竹内 邦彦	新潟

競技委員長 鈴木淳

2019年 関東倶楽部対抗新潟第2会場予選競技

開催日:5月23日(木)

開催コース:新潟ゴルフ倶楽部

本競技は日本ゴルフ協会発行のゴルフ規則とこのローカルルールと競技の条件を適用する。

本書に記載の無い事項や追加変更がある場合は競技規定やプレーヤーへの通知文書、または競技会場での掲示物に掲載されるので必ず参照すること。

ゴルフ規則によって別に定められている場合や本書に罰が記載されている場合を除き、このローカルルールと競技の条件の違反の罰は、「**一般の罰(2罰打)**」となる。

ローカルルール

1. アウトオブバウンズ(規則 18.2)

アウトオブバウンズは白杭のコース側を地表レベルで結んだ線によって定められる。

2. 異常なコース状態(動かさない障害物を含む)(規則 16)

(a) 修理地

青杭を立て、白線で囲まれた区域。

(b) 動かさない障害物

(1) 排水溝

(2) 複数の動かさない障害物が接している場合、それらはひとつの動かさない障害物として扱われる。

(3) 動かさない障害物と白線でつながれている区域は、その動かさない障害物の一部として扱われる。

(4) 黄黒の縞杭

(5) 距離標示用の人工のヤーデージマーク(距離標示用の杭は除く)

(6) 15番ホールグリーン右側の旧カート道路に球があったり、球が近接しているためにスタンスや意図する区域の妨げになる場合、プレーヤーは次のことができる:

・規則 16.1 に基づき罰なしの救済を受ける。または

・追加の選択肢として、元の球か別の球をドロップゾーンにドロップする。

このドロップゾーンは規則 14.3 に基づく救済エリアである。

3. 保護フェンス

保護フェンスに球が近接しているためにスタンスや、意図するスイングの区域の妨げになる場合、規則 16.1 により処置するときは、その障害物の中や下や上を通さずに救済のニヤレストポイントを決めなければならない。

4. プレー禁止区域

(a) 電磁誘導カート用の2本のレーン(白線でつながれている区域を含む)は、全幅をもってプレー禁止区域であり、異常なコース状態として扱われる。規則 16.1f に基づき、そのプレー禁止区域による障害からの罰なしの救済を受けなければならない。ただし、スタンスにだけ障害となる場合は、そのままプレーすることもできる。

(b) 2番ホールにある青白の縞杭を立て、白線で囲まれた区域は、プレー禁止区域であり、異常なコース状態として扱われる。規則 16.1f に基づき、そのプレー禁止区域による障害からの罰なしの救済を受けなければならない。

5. 不可分な物

以下の物は不可分な物であり、無罰の救済は認められない。

(a) 樹木やその他の恒久的な物件に巻きついたり、密着させてあるもの。

(b) ペナルティーエリア内にある人工の壁や杭でできた構造物。

6. クラブと球の規格

(a) ストロークを行うために使うドライバーは R&A が発行する最新の適合ドライバーヘッドリストに掲載されているクラブヘッド(モデルとロフトで識別される)を持つものでなければならない。

(b) ストロークを行うときに使用する球は R&A が発行する最新の適合球リストに掲載されていなければならない。

このローカルルールの違反に対する罰:失格

7. ゴルフシューズ

ラウンド中、プレーヤーは下記の特徴を持つシューズを履いてはならない:

伝統的なスパイクすなわち、地面を深く貫くようにデザインされた1つあるいは複数の鋳を有するスパイク(メタル製、セラミック製、プラスチック製、その他の材質かは問わない)。

このローカルルールの違反に対する罰:規則 4.3 参照

8. プレーの中断と再開(規則 5.7)

(a) 即時中断(落雷等、切迫した危険がある場合)

委員会がプレーの即時中断を宣言した場合、すべてのプレーヤーは直ちにプレーを止めなければならない、委員会がプレーを再開するまでは別のストロークを行ってはならない。

このローカルルールの違反に対する罰:失格

即時中断中は、委員会がオープンと宣言するまで、すべての練習施設はクローズとなる。クローズとなった練習施設で練習しているプレーヤーは練習を止めるように要請される。その要請に従わなかった場合、失格とすることがある。

(b) 通常の中断(日没やコースがプレー不能)

規則 5.7b, c, d に従って処置すること。

(c) プレーの中断と再開の合図

即時中断 : 1 回の長いサイレン

通常の中断 : 3 回の短いサイレン

プレーの再開 : 2 回の短いサイレン

と同時に、本部よりカート無線および競技委員を通じてプレーヤーに連絡する。

9. 練習

ホールとホールの間、プレーヤーは次のことをしてはならない。

終了したばかりのグリーンやその近くで練習ストロークを行う。または、終了したばかりのグリーンの表面をこすったり、球を転がすことによってグリーン面をテストする。

10. キャディー

プレーヤーはラウンド中に委員会によって指定された者以外をキャディーとして使ってはならない。

このローカルルールの違反に対する罰:違反があった各ホールに対して一般の罰を受ける。違反がホールとホールの間で起きたり、ホールとホールの間まで続く場合、プレーヤーは次のホールで一般の罰を受ける。

競技の条件

1. 参加資格

プレーヤーは「競技規定」で定められる参加資格を満たしていなければならない。

2. スコアカードの提出

スコアリングエリア方式を採用する(プレーヤーの両足がエリアから出た時点をもって提出されたものとみなす)。

3. 競技終了時点

競技委員長の成績発表がなされた時点をもって終了したものとみなす。

注意事項

1. ローカルルール 7 項において規制されるシューズ以外でもグリーンに著しく損傷を与えるシューズは使用禁止とすることがある。

2. プレーヤーにエチケット違反、または非行があった場合には「行動規範」に基づいて制裁を受けることがある。また重大な非行があった場合には規則 1.2a および 20.2 に基づいて失格とする場合がある。

3. J アラート(全国瞬時警戒システム)や緊急速報メール等により緊急情報が伝えられた場合はプレーの即時中断とします(ローカルルール 8 項参照)。落ち着いて直ちに避難してください。

4. 打放し練習場においては備付けの球を使用し、スタート前の練習は 1 倶楽部 150 球を限度とする。

※使用クラブは、5 番アイアンまでとする。

5. アプローチ・バンカー練習場は、自己の球を使用すること(1 人 3 個まで)。

競技委員長 鈴木淳

距離表

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	OUT	
AｸﾗｽYards	380	395	160	400	510	405	150	505	305	3210	
BｸﾗｽYards	395	415	185	415	510	420	160	520	305	3325	
Par	4	4	3	4	5	4	3	5	4	36	
	10	11	12	13	14	15	16	17	18	IN	TOTAL
	165	500	300	505	380	370	400	165	340	3125	6335
	175	515	300	520	400	370	425	185	340	3230	6555
	3	5	4	5	4	4	4	3	4	36	72